



## ガソリン価格の高騰を何とかして!

今後EVの充電スタンドは足りるの? 一生懸命働いてるのに給料が上がらない。コロナで給料が減り家賃が払えない。

### 働きやすい社会に女性も子供を産みたいけど生活費が苦しい。

## カーボンニュートラルの実現に向けて

# 『対決より解決』

皆さんの不安や不満を解消するため  
の姿勢で政策を提案  
し続けます!



コロナでまた医療費負担が増えるのか心配  
教育格差  
コロナでまた学校に行けなくなったらどうしよう  
親の介護と学業の両立  
将来、ちゃんと年金はもらえるの  
生活が苦しいので消費税を下げてください。コロナで明日の食費もまま

## 自動車のEV化で

### 自動車産業は どう変化するの? 自動車の税金が高すぎる 半導体不足はいつまで続くの?



卒業後も奨学金の返済で苦しい。食料自給率が低い日本はこれから大丈夫?

哲史のTETSU学  
ガソリン価格高騰の打開策!!  
「トリガー条項」とは?

## この大変革期に どう立ち向かうか?

自動車産業におけるカーボンニュートラルについて

第四次産業革命と形容される時代に突入し、自動車産業においてはCAS E、Maasなる用語が頻繁に用いられるようになって、100年に一度の変革期を迎えていると云われ始めたのはつい最近のことです。そこに、自動車の走行だけでなく製造から廃棄に至るまでの全過程において脱炭素化が求められるカーボンニュートラルが、大きなマグネチュードとして重なるようになりました。

カーボンニュートラルは我が国自動車産業だけでなく、世界中の自動車産業にとっても手に余る大きな課題になっており、もはや企業の自助努力だけでは克服できない領域に入ってきました。

各国・地域においては、カーボンニュートラルという共通の目標を掲げながら今後発展する新たな市場経済で優位に立つとする動きが見て取れます。技術面や税制、国際ルールづくりなど国家的プロジェクトとも考えられる厚い政府支援が施されていることから、我が国においても今後、企業と政府が強く結び付き合いながら、熾烈な国際競争に立ち向かっていかなければなりません。

既に各国が大きな方針を定め、具体的な行動に移行している現状、様々な技術面や環境面での困難を克服するには、限られた時間と資源の中で、我が国にも選択と集中が求められると考えます。

その際には、自分たちの強みを活かすことと併せて、グローバルに事業を展開していくこととする限りは、日本市場を大切にしながらもガラパゴス化しない様、自動車需要の95%を占める海外市場がどこに向かおうとしているのかを良く見極めることが大切ではないかと思えます。

参議院議員 いそぎ 哲史

## ISOGABA 哲史

いそぎ 哲史  
2021. 8/16~12/28

各種会合 (Web参加含む) 110件に参加しました。国会見学は3件の訪問を受けました。昨年10月の衆議院議員総選挙では各地に16件の応援、訪問に駆け付けました。また党の広報局長としてニコニコ動画や党のYouTubeチャンネルに出演、機関紙「国民民主プレス」を編集しました。

公式Webサイト  
isozakitetsuji.com

公式SNS  
最新の活動状況を発信中です!

i-connect データ版

いそぎ哲史公式YouTubeチャンネル  
皆さんの代表として国会でのリアルな論戦を配信中!

